

# 中国大気環境改善に係る平成 26 年度の取組み（富山県） ～遼寧省との自動車排出ガス対策協力事業～

## 1 経緯

富山県と遼寧省は、昭和 59 年に友好県省を締結し、平成 21 年には互恵協力と共同発展のための協定を締結しており、環境分野（大気、水質）においても平成 10 年度から共同調査等を実施している。

遼寧省から自動車の急激な増加などで問題になっている自動車排出ガスに関する共同事業の申入れがあったため、（公財）環日本海環境協力センター\*と連携し、（独）国際協力機構 [草の根技術協力（地域提案型）] の支援を受け、平成 24 年度から 3 年間、遼寧省との自動車排出ガス対策協力を実施している。

※（公財）環日本海環境協力センター：

平成9年度に環日本海地域の環境保全・環境協力を推進するため、富山県が設立（平成 10 年度に財団法人化、環境省所管）。11 年度には、北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）の特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センター（CEARAC）に指定。平成 25 年度に公益財団法人へ移行。

## 2 内容（平成 26 年度の計画）

### ① 事業計画に関する検討会の開催

年度ごとの事業計画などに関する検討会を富山県内で開催（7 月）

### ② 窒素酸化物の調査

特に交通量の多い瀋陽市の主要交差点にサンプラーを設置し、自動車排出ガスの主要成分である窒素酸化物（光化学オキシダントなどの原因物質）の濃度を調査（通年）

### ③ 研修員の受入れと技術職員の派遣

- ・遼寧省等から研修員を受け入れ、分析技術に関する研修を実施  
（遼寧省：2～3 名×5 日（7 月）、瀋陽市：3 名×15 日（秋頃））
- ・環境科学センター職員等を遼寧省に派遣し、調査の実施を支援  
（富山県：7～8 名×4～6 日（7 月、1 月））

### ④ 研修会・報告会の開催

市民啓発のための総括報告会を開催（1 月）

※27 年度以降の取組みについては、遼寧省と協議予定。

### <全体スケジュール>

	24 年度	25 年度	26 年度(予定)
①検討会	○5 月	○7 月	○7 月
②窒素酸化物の調査	↔ ↔ ↔ 3 月 比較調査    5 月    11 月～12 月 スクリーニング* 調査    スクリーニング* 調		
③研修員の受け入れ 技術職員の派遣	○9 月	○2 月	○7 月    ○秋頃 ○7 月    ○1 月
④研修会・報告会		○2 月 [省市職員]	○1 月 [市民]

### <期待される効果>

遼寧省では、汚染の激しい交差点に自動車排出ガス自動測定機を設置予定であり、その地点選定に本事業の結果を活用したいとしている。

## 3 予算額（24～26 年度：見込み）

- ・窒素酸化物の調査、研修員の受入れと技術職員の派遣など 17,800 千円（JICA）
- ・事業計画に関する検討会の開催など 4,500 千円（県単）

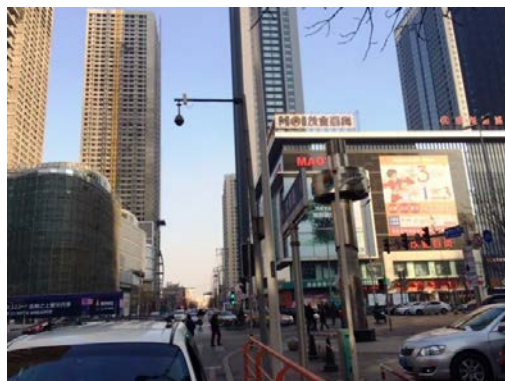
### 1 検討会の開催（平成 25 年7月4日、富山市）



### 2 窒素酸化物の調査（瀋陽市内）



調査地点



調査地点

### 3 研修員の受入れ（平成 24 年9月、富山県環境科学センターほか）



サンプラー設置



サンプル前処理

#### 4 技術職員の派遣(平成 26 年2月、協議・視察)



遼寧省自動車汚染防止センターとの協議



瀋陽市環境監測センター視察

#### 5 普及研修会 (平成 26 年2月 13 日、瀋陽市)

